

KA
NA
TA



[TPAMIY showcase]

IDIOT SAVANT theater company & Kaoru OSANAI, TSUGARU-JAMISEN
[-U-BA-SUTE- Intersection of this world and the netherworld]

Date: February

16th(Wed) -17th(Thu) 19:00,
18th(Fri)-19th(Sat) 14:00/19:00,
20th(Sun) 13:00/17:00

Post - performance receptions to be held on.

Venue: TEI-SHO-IN TEMPLE (5-1-3, Kami-nagaya, Konan-ku, Yokohama)
*5-min. walk from Kami-nagaya Sta. on Yokohama City Subway "Blue line".
From Yokohama Sta.: Approx. 25 min. by train + walk.

Running time: 100 min.

Entry: Advance/At door 3,300JPY / Student 2,700JPY /

Free entrance with TPAM Pass

Tel: 080-6587-8803 / <http://homepage3.nifty.com/idiotsavant/>

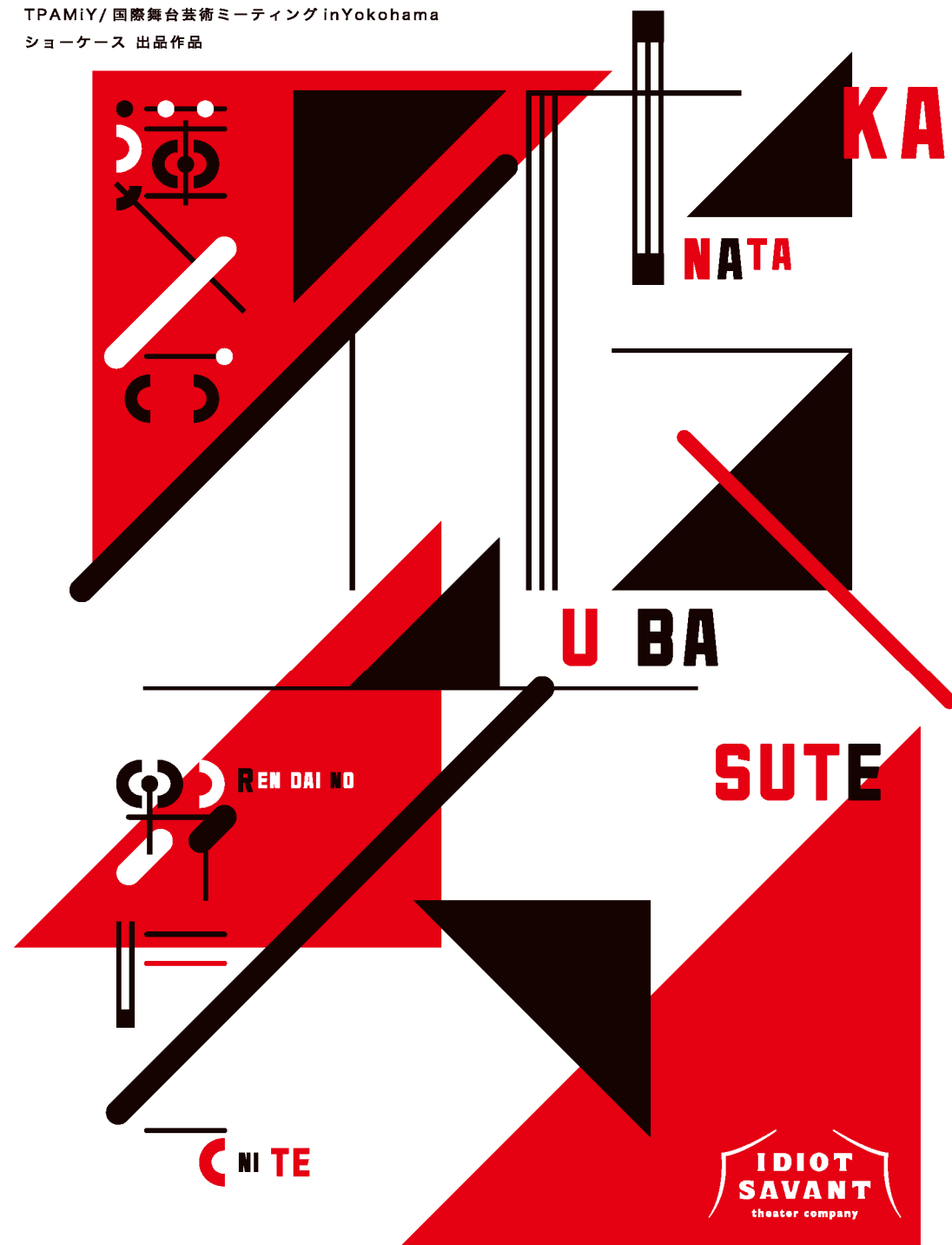
Contact: Mr.KOH-TOH-SHI (Artistic Director) / Ms.Miyako TAKASAKI (Production Manager)

The IDIOT SAVANT theater company was founded in 2005 and it has developed an alternative style of performance that weaves filmed images, contemporary music and the lyrical texts composed by Koh-Toh-Shi, the founder, a writer-director, and a poet. Pursuing its own theory of body expression, company's specific style, "Impassioned tableau theater - expressing less to enhance audience's imagination" has evolved. The company still advances to create and convey the unique theatrical space. This time, the IDIOT SAVANT theater company collaborates with "Tsugaru-jamisen", a three-stringed instrument, along with motion pictures of the deep snow fallen in the serene mountain.

RE
ND
AI
NO
NI
TE

2011.2.16 (Wed)-20 (Sun)

TPAMIY/ 国際舞台芸術ミーティング inYokohama
ショーケース 出品作品



KA
NATA

U BA

SUTE

REN DAI NO

NI TE



Tsugaru-shamisen

IDIOT SAVANT theater company × KAORU OSANAI

IDIOT SAVANT theater company × 津軽三味線・小山内薫

彼方、蓮台野にて - U-BA-SUTE -



作・演出 恒十絲

出演 朱尾尚生 近藤康弘
櫻井宇宙 坂本カンタ
竹中香子 藍沢誠 (-saly.s)
石田迪子 下山マリナ (世田谷シルク)

小山内薫

舞台美術 池原哲男 (池原一級建築士事務所)

舞台監督 小林英雄

照明 赤田智宏 (日高舞台照明)

音響 寛良太

衣装 虎井想市

振付 サミュエル・ボンヌ

演出助手 R.フレッド 桑原彩香

宣伝美術 越阪部ワタル (Lovedesign co.)

制作 高崎部

制作補 湯本綾子 小野寺愛 (こまどりの会 代表)

協力 亀野哲也 (貞昌院) 菊地菊代 (津軽かたりべの会・会長)
宮下今日子 木村文洋 佐藤徹 (有)TKS
大杉謙治 (ならしのすずめの会 主宰) 深田信幸 及川勝
小倉恭介 (一運の士 理事) 福士香 (弘前市りんご公園)
砂釜賀絵 小林加歩 アリー・エンターテイメント
国際舞台芸術交流センター (以上敬称略)

主催 IDIOT SAVANT theater company

チケット予約・問合せ

IDIOT SAVANT theater company
イディオ・サヴァン シアターカンパニー
tel 080-6587-8803 / fax 042-208-3077
e-mail idiot.savant@nifty.com
【オンラインサービス】
http://homepage3.nifty.com/idiotsavant/



IDIOT SAVANT
theater company

KAORU OSANAI

れん だいの
蓮台野

の べ おく
野辺送り

墓地または引導場、野辺送りの地。地名にもなっており、昔、口減らしのために老人たちを捨てたという伝説的な丘や野原が集落ごとに点在していた。老人たちはそこに小屋をつくり、死ぬまで生きるために自給自足の共同生活を営んでいた。時には蓮台野を歩いて来て、老人たちの豊かな知識と経験を子どもたちと与えていたと伝えられる。そこは、生きながらにして「あの世」に住む人々の魂を置いた地のようにであった。若手・通野では「デンデラ山」に転訛され、伝寺(デンデラ)という意識を盛り込み伝えられたといひ、埋葬と魂の昇華に加えて再生があるものと考えられる。北インドの太子が布施の行を修行した壇特山(サンスクリット語でダングラ・カ)を和訳すると「陰山・陰野」、漢字にすると「伝泥落進」となりデンデラ野の語源になったともいわれる。

葬列をなして埋葬地・火葬場まで死者を送る習俗のこと。昔は故人と親しい人たちが棺をかつぎおしみの行列をつくって葬送したのだが、それが野辺のような場所だったところから野辺送りと呼ばれたようである。遺体と同時に靈魂も送る儀式なので、魂が家に戻ってくるのを防ぐために、葬列が途中で不要な巡回をしたりと様々な送り方をしたようである。野辺送りが始められたのは鎌倉時代といわれ、江戸時代までは夜しか行えない筈があった。(参考: 広辞苑第四版・葬儀大事典ほか)

現代版・姥捨て伝説。
全国各地に残る民話を通して「日本」を探る。

恒十絲の硬質な詞
小山内薫の津軽三味線
IDIOT SAVANT の演舞
= 身体表現を横浜の寺院に連立させる。

匿名的非日常性を促す「面」が演者の身体に触れる時、「あの世とこの世の境」の物語が始まる。
現代における蓮台野とは、姥捨てとは、恒十絲が描く「最北」の世界がここにとき放たれる。

恒十絲 プロフィール
詩人・演出家・劇作家。1970年生まれ。川村毅に師事、第三エロチカを経て、2002年劇団Purkinje Phenomenon(ブルキエ・フェノメノン)を設立。「空々しい爪の叙情的嗜好」[XとRの動機]「恥弱」を発表。05年に現 IDIOT SAVANT theater company に集団名を改称。現在までに「馴れあう観客」「黒線のアテ」「KINK」「擲る人ほどに」全作品の作・演出を手がける。恒十絲の紡ぐ硬質で抒情的な詩・テキストを軸に、演舞、映像、音楽、美術、そして場所とを融合させ、パフォーマンス・演劇などカテゴリーに嵌められない固有の作品空間を構築してきた。07年タイニイアリスから招聘をうけ、アリスフェスティバルの大トリとして第2作を発表、好評を博し、08年3月東京芸術見本市にて第3作を出展。また、スポーツ医学に則り日本人の体感にあった独自の身体理論を提唱し、05年よりワークショップを実施している。

小山内 薫 プロフィール
津軽三味線奏者。1979年生まれ。12歳の時、師匠である多田あつしの生演奏を間近で聴き、繊細な音色、力強い響きに圧倒され弟子入り。今どきな風貌とは裏腹に、津軽三味線に対するこだわりには職人的な一途さがある。三味線音楽の可能性を追求し、ロックバンドとの競演等、活動の幅を広げる若手のホープ。昨今の三味線のコロナ、セッションにありがちな安易さが感じられないのは、独自のスタイルを確立している証でもある。2005年には「吉田兄弟」プロデュースの津軽三味線ユニット「疾風(はやて)」として活動を開始し、07年7月にアルバム「impressions」(疾風)を発表。06年の全国大会に出場した時の模様は『NHKにげんドキュメント』でとり上げられ、また、ロシア・ブラジル・ウルグアイ・グァムなど海外での公演や、全国大会での多数の受賞歴を持つ。



2011.2.16 (Wed)
-20 (Sun)

16 (水)	17 (木)	18 (金)	19 (土)	20 (日)
		14:00-	14:00-	13:00-
19:00-	19:00-	19:00-	19:00-	17:00-

●開場は開演 30 分前、受付開始は開演 1 時間前 ●公演後レセプションあり

日時指定・全席自由
前売・当日 3300 円 学生 2700 円 (学生証提示)
※ TPAMバスをお持ちの方は無料

tel:080-6587-8803 / fax: 042-208-3077 / e-mail: idiot.savant@nifty.com
http://homepage3.nifty.com/idiotsavant/

会場 貞昌院
(横浜市営地下鉄ブルーライン・上永谷駅から徒歩 5 分)
横浜市港南区上永谷 5-1-3
当日問合せ: 080-6587-8803

